

建設労働需給調査結果

(平成 28 年 9 月調査)

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課
課長補佐 荒井 (内線24853)
山田 (内線24854)
(電話) 03-5253-8111【代表】
03-5253-8283【直通】
(FAX) 03-5253-1555
ホームページ <http://www.mlit.go.jp>

【調査結果のポイント】

- 本調査結果は、平成28年9月10日～20日までの間の1日（日曜、休日を除く）を調査対象日として調査している。
- 全国の8職種の過不足率は、8月は0.9%の不足、9月は0.9%の不足となり前月と同様となった。
- 東北地域の8職種の過不足率は、8月は0.8%の不足、9月は0.7%の不足となり0.1ポイント不足幅が縮小した。
- 8職種の今後の労働者の確保に関する見通しについては、全国及び東北地域とも「普通」となっている。

1. 全国の過不足率の状況（原数値）

- 【8職種】 0.9 %の不足。
○ 8職種全体で0.9%の不足となった。
特に鉄筋工（土木）で2.3%の不足率が大きい。
- 【6職種】 1.1 %の不足。
○ 6職種全体で1.1%の不足となった。
特に鉄筋工（土木）で2.3%の不足率が大きい。

2. 東北地域の過不足率の状況（原数値）

【8職種】	0.7 %の不足。
【6職種】	0.9 %の不足。
○	8職種中、型わく（土木）、型わく（建築）、とび工、鉄筋工（土木）、鉄筋工（建築）、電工、配管工は不足傾向、左官は均衡となっている。
○	今後の見通しとしては、6職種及び8職種で「普通」となった。

3. 職種別の状況（原数値）

- 8職種全職種で不足傾向となっている。最も不足傾向が大きいのは、鉄筋工（土木）の不足率が大きい（2.3%）。
- 鉄筋工（土木）について、過不足率の対前年の増減幅が大きくなっている。
- 新規募集の過不足状況については、6職種計において、前年同月を下回る不足率となり、8職種計において前年同月を上回る不足率となっている（参考3参照）。

	今月過不足率	前月過不足率	対前月増減	前年同月過不足率	対前年増減
型わく工（土木）	2.2 %	1.7 %	0.5	0.8 %	1.4
型わく工（建築）	0.9 %	0.5 %	0.4	1.1 %	△ 0.2
左 官	0.3 %	2.2 %	△ 1.9	0.3 %	0.0
と び 工	1.4 %	1.4 %	0.0	1.9 %	△ 0.5
鉄筋工（土木）	2.3 %	1.9 %	0.4	0.6 %	1.7
鉄筋工（建築）	0.1 %	0.9 %	△ 0.8	0.3 %	△ 0.2
6 職 種 計	1.1 %	1.2 %	△ 0.1	1.0 %	0.1
電 工	0.5 %	0.3 %	0.2	0.2 %	0.3
配 管 工	0.7 %	0.5 %	0.2	0.4 %	0.3
8 職 種 計	0.9 %	0.9 %	0.0	0.7 %	0.2

4. 地域別の状況（8職種計）（原数値）

- 沖縄は均衡、それ以外の地域では技能労働者が不足傾向であった。
- 地域別に過不足率を前年同月と比較すると、北海道が4.5ポイントの増で、全国で最も増減幅が大きくなっている。

	今月過不足率	前月過不足率	対前月増減	前年同月過不足率	対前年増減
北海道	4.5 %	3.7 %	0.8	0.0 %	4.5
東 北	0.7 %	0.8 %	△ 0.1	2.4 %	△ 1.7
被災3県	0.8 %	0.4 %	0.4	3.0 %	△ 2.2
関 東	0.2 %	0.2 %	0.0	0.4 %	△ 0.2
北 陸	1.4 %	△ 1.2 %	2.6	1.0 %	0.4
中 部	0.5 %	1.4 %	△ 0.9	1.9 %	△ 1.4
近 畿	0.3 %	△ 0.5 %	0.8	0.2 %	0.1
中 国	1.9 %	5.1 %	△ 3.2	1.3 %	0.6
四 国	2.9 %	2.4 %	0.5	1.4 %	1.5
九 州	2.1 %	1.0 %	1.1	0.5 %	1.6
沖 縄	0.0 %	0.1 %	△ 0.1	0.4 %	△ 0.4

5. 地域別の状況（6職種計）（原数値）

- 関東、沖縄は均衡、それ以外の地域では技能労働者が不足傾向であった。
- 地域別に過不足率を前年同月と比較すると北海道が5.3ポイントの増で、全国で最も増減幅が大きくなっている。

	今月過不足率	前月過不足率	対前月増減	前年同月過不足率	対前年増減
北海道	4.9 %	4.0 %	0.9	△ 0.4 %	5.3
東北	0.9 %	1.3 %	△ 0.4	3.1 %	△ 2.2
被災3県	1.3 %	0.7 %	0.6	4.7 %	△ 3.4
関東	0.0 %	0.3 %	△ 0.3	0.6 %	△ 0.6
北陸	1.9 %	△ 1.9 %	3.8	1.0 %	0.9
中部	0.8 %	2.0 %	△ 1.2	3.5 %	△ 2.7
近畿	0.0 %	△ 3.2 %	3.2	0.1 %	△ 0.1
中国	2.7 %	7.6 %	△ 4.9	2.3 %	0.4
四国	4.0 %	3.1 %	0.9	2.4 %	1.6
九州	2.0 %	0.7 %	1.3	0.4 %	1.6
沖縄	0.0 %	0.2 %	△ 0.2	0.5 %	△ 0.5

6. 今後の労働者の確保に関する見通し（8職種計）（原数値）

- 翌々月（11月）における労働者の確保に関する見通しは、「困難」と「やや困難」の合計が25.1%で、対前年同月比2.9ポイントの下降となっている。また、「やや容易」と「容易」の合計は7.0%で、対前年同月比0.7ポイントの下降となっている。
- 翌々々月（12月）に関する見通しについては、「困難」が19.3%で対前年同月比2.2ポイントの下降となっている。「容易」は8.5%で、対前年同月比1.6ポイントの下降となっている。

8 職 種 計					
	11 月の見通し			12 月の見通し	
	今月	前年同月		今月	前年同月
困 難	8.5 %	8.7 %	困 難	19.3 %	21.5 %
やや困難	16.6 %	19.3 %	普 通	63.1 %	58.1 %
普 通	68.0 %	64.3 %	容 易	8.5 %	10.1 %
やや容易	2.7 %	3.8 %	不 明	9.1 %	10.3 %
容 易	4.3 %	3.9 %			
不 明	0.0 %	0.0 %			

※翌々月の見通しは、「困難」「やや困難」、「普通」「やや容易」、「容易」「不明」からの回答で、翌々々月の見通しは、「困難」「普通」「容易」「不明」からの回答である。

7. 手持現場の状況（8職種計）（原数値）

- 残業・休日作業を実施している現場数（強化現場数）は、手持現場数の5.1%となっており、前月（8月）と比べ0.9ポイント増加している。なお、対前年同月（2.8%）比では2.3ポイント増加している。
- 強化理由は、「その他」を除いて「前工程の工事遅延」、「昼間時間帯時間の制約」、「無理な受注」、「天候不順」の順となっている。

全手持現場に占める 強化現場の割合	強 化 理 由					
	無 理 な 受 注	天 候 不 順	昼 間 時 間 帯 時 間 の 制 約	前 工 程 の 工 事 遅 延	そ の 他	不 明
5.1 %	16.4 %	14.9 %	23.6 %	27.7 %	17.4 %	0.0 %

【参考1】職種別過不足率（季節調整値）

	今 月	前 月	対前月増減
型わく工（土木）	2.1 %	1.7 %	0.4
型わく工（建築）	0.2 %	△ 0.2 %	0.4
左 官	0.1 %	2.2 %	△ 2.1
と び 工	0.9 %	1.2 %	△ 0.3
鉄筋工（土木）	1.7 %	0.4 %	1.3
鉄筋工（建築）	△ 0.6 %	△ 1.5 %	0.9
6 職 種 計	0.7 %	0.4 %	0.3
電 工	0.7 %	0.5 %	0.2
配 管 工	0.8 %	0.8 %	0.0
8 職 種 計	0.7 %	0.4 %	0.3

【参考2】地域別過不足率（季節調整値）

	8職種計過不足率			6職種計過不足率		
	今月	前月	対前月増減	今月	前月	対前月増減
北海道	3.2 %	2.4 %	0.8	3.5 %	2.0 %	1.5
東北	△ 0.0 %	0.4 %	△ 0.4	△ 0.2 %	0.4 %	△ 0.6
関東	△ 0.2 %	△ 0.3 %	0.1	△ 0.5 %	△ 0.6 %	0.1
北陸	0.6 %	△ 1.4 %	2.0	0.9 %	△ 2.3 %	3.2
中部	0.0 %	1.6 %	△ 1.6	0.3 %	2.5 %	△ 2.2
近畿	0.3 %	△ 0.4 %	0.7	0.2 %	△ 3.6 %	3.8
中国	1.8 %	5.1 %	△ 3.3	2.3 %	7.5 %	△ 5.2
四国	2.6 %	2.1 %	0.5	3.2 %	2.7 %	0.5
九州	1.5 %	0.2 %	1.3	1.4 %	△ 0.2 %	1.6
沖縄	0.2 %	0.2 %	0.0	0.3 %	0.3 %	0.0

【参考3】新規募集過不足率（原数値）

	今 月	前 年 同 月	前 月
型わく工（土木）	7.5 %	4.5 %	6.8 %
型わく工（建築）	2.8 %	2.2 %	2.5 %
左 官	0.7 %	3.5 %	5.4 %
と び 工	3.6 %	4.8 %	4.1 %
鉄筋工（土木）	3.9 %	2.9 %	8.1 %
鉄筋工（建築）	2.2 %	2.3 %	2.3 %
6 職 種 計	3.1 %	3.3 %	3.7 %
電 工	1.7 %	1.0 %	1.7 %
配 管 工	2.4 %	0.9 %	1.9 %
8 職 種 計	2.9 %	2.6 %	3.1 %

表-2 地域別の需給状況（原数値）

地域 職種	需給状況		北 海 道	東 北	関 東	北 陸	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄	全 国 計
	型わく工 （土木）	過不足率（％）	28年9月 27年9月	3.5 -4.1	0.8 0.0	2.5 4.5	0.0 0.0	3.9 5.4	0.0 0.0	4.3 1.7	2.4 2.3	5.1 0.0	0.0 0.0
今後の 見通し		11月見通し 12月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
型わく工 （建築）	過不足率（％）	28年9月 27年9月	1.6 3.4	0.3 0.7	-1.0 0.3	5.6 0.0	1.7 14.0	0.0 0.0	7.6 3.5	8.2 3.6	2.2 1.6	0.0 0.8	0.9 1.1
	今後の 見通し	11月見通し 12月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
左官	過不足率（％）	28年9月 27年9月	0.0 2.9	0.0 6.2	-0.5 -2.3	4.4 4.8	0.0 0.0	0.0 0.0	1.5 1.0	0.0 -11.4	0.0 0.0	0.0 0.1	0.3 0.3
	今後の 見通し	11月見通し 12月見通し	△ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
とび工	過不足率（％）	28年9月 27年9月	9.8 -2.0	3.3 9.5	0.8 3.0	0.4 1.7	0.0 2.4	0.0 0.4	0.5 4.0	1.3 2.9	0.0 0.0	0.0 0.0	1.4 1.9
	今後の 見通し	11月見通し 12月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
鉄筋工 （土木）	過不足率（％）	28年9月 27年9月	4.0 3.4	1.1 2.8	7.9 0.0	4.2 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 -7.0	9.4 7.7	5.6 0.0	0.0 0.0	2.3 0.6
	今後の 見通し	11月見通し 12月見通し	△ ▲	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
鉄筋工 （建築）	過不足率（％）	28年9月 27年9月	4.0 0.0	0.9 0.0	-1.3 -0.4	0.0 0.4	0.0 0.0	0.0 0.0	2.0 1.9	12.1 4.9	0.0 0.7	0.0 1.2	0.1 0.3
	今後の 見通し	11月見通し 12月見通し	▲ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ▲	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
6職種計	過不足率（％）	28年9月 27年9月	4.9 -0.4	0.9 3.1	0.0 0.6	1.9 1.0	0.8 3.5	0.0 0.1	2.7 2.3	4.0 2.4	2.0 0.4	0.0 0.5	1.1 1.0
	今後の 見通し	11月見通し 12月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
電工	過不足率（％）	28年9月 27年9月	2.0 1.3	0.1 0.1	0.6 -0.3	0.5 0.6	0.0 0.0	0.1 0.2	0.0 -0.2	0.0 0.0	3.8 0.9	0.0 0.2	0.5 0.2
	今後の 見通し	11月見通し 12月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
配管工	過不足率（％）	28年9月 27年9月	5.3 0.0	0.5 2.8	-0.1 0.1	0.4 1.5	0.0 0.0	1.7 0.3	2.2 -0.5	1.3 0.0	0.0 0.3	0.0 0.0	0.7 0.4
	今後の 見通し	11月見通し 12月見通し	△ ▲	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥
8職種計	過不足率（％）	28年9月 27年9月	4.5 0.0	0.7 2.4	0.2 0.4	1.4 1.0	0.5 1.9	0.3 0.2	1.9 1.3	2.9 1.4	2.1 0.5	0.0 0.4	0.9 0.7
	今後の 見通し	11月見通し 12月見通し	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥	⊥ ⊥

注1) この表で用いている記号は、以下の例による。

◎…容易、 ○…やや容易、 ⊥…普通、 △…やや困難、 ▲…困難、 ※…不明

注2) 記号は、回答のうち最も多数を占めるものを使った。

注3) 12月の見通しは、「容易」「普通」「困難」「不明」のうちからの回答である。

建設技能労働者過不足率の推移（8職種計・全国）



建設技能労働者過不足率の推移（6職種計・全国）



